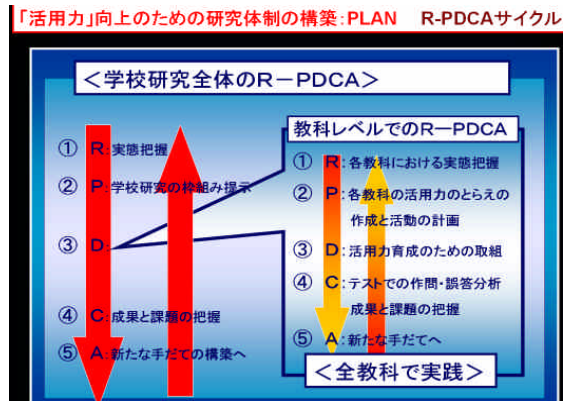
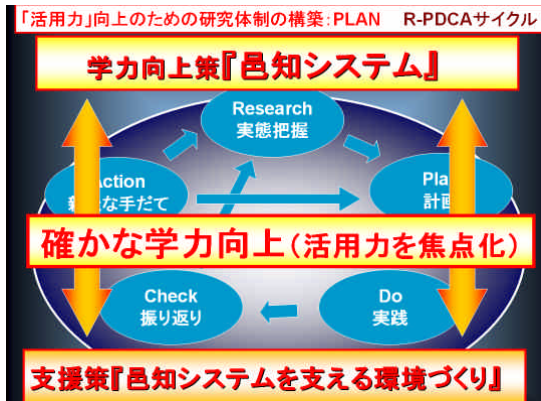


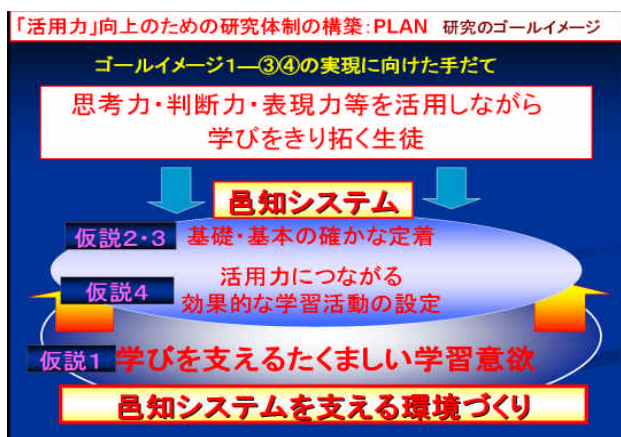
A-3 『県知システム』と『県知システムを支える環境づくり』



R-PDCAサイクルを用いた『県知システム』の実践

Research	○個についての丁寧な実態把握。(誤答分析・各種アンケート等の分析・教科相談等)
Plan	○生徒の実態と「学校研究レベルでの Plan」を受けた各教科の指導計画の作成 各教科における生徒のゴールイメージの明確化
Do	○活用力の育成に向けた各教科の取組 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>＜定着の場面(習得・習熟)＞ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をめざした各教科の取組 各教科の基礎・基本の習得タイム 等</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>＜活用力をはぐくむ活動(活用)＞ 活用力の育成を目指した各教科の取り組み 各教科の活用力をはぐくむための場面設定の工夫 活用力につながる学習活動を通して身につけたい力の具体化 等</p> </div> <p>○個に応じた指導法の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材開発 : つけたい力を明確にした教材開発 ・指導体制の工夫: 小中連携による学習規律の徹底(学びの県知スタイル) : 少人数授業における習熟度別学習の拡大 : 多様な学習形態の積極的導入 ・指導方法の充実: つけたい力を生徒と共有した授業実践 : 選択教科の充実(基礎・基本、基本+発展コース) <p>○学習サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習オリエンテーション ・教科相談 ・学習カルテ ・県知BASIC ・各学年の補充学習 ・テスト後のテストノート ・小中連携 ・中高連携 ・家庭学習 ・チャレンジスタディ
Check (Research)	○評価・振り返り(何ができて、何ができていないのか) : 活用力を評価する問題の作成・誤答分析 : 授業改善チェックリスト : 教科担当による教科相談 : 評価の工夫 : 指導案の工夫 : 校内研修会の充実(共通の視点) : 生徒の意識調査
Action	○指導と評価の一体化による授業改善 ○新たな手立ての構築へ

・言語活動の充実
・基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習
・見通しを立てたり、振り返ったりする学習



『邑知システムを支える環境づくり』

(助けあい・鍛えあいによる「豊かな心」「健やかな体」を身につけた生徒をめざして)

以下の取組を重点的に行うことを通して、自尊感情や自己肯定感、並びに他者肯定感をはぐくみ、自分の人生を前向きにとらえることができるような姿勢の育成をねらう。この意識の高まりが学習意欲につながっていくと考えた。

- 1 心に響く体験活動や道德教育の充実（自尊感情や自己肯定感、自己理解の高まり）
 - ・ 命の教育の充実
- 2 自主性を重んじた生徒会活動（達成感・成就感、所属感、自己有用観、他者肯定感の高まり）
 - ・ 一人年5回以上のボランティア活動
 - ・ 全校で取り組むエコ・スクール
(いしかわ学校版環境ISO)
- 3 自らの将来を肯定的にとらえるキャリア教育の推進（向上心の高まり）
 - ・ 系統的な体験学習を通して見通しを持たせる進路学習
- 4 自らの心身の健康を保持・増進させようとする活動の推進（健康の保持・増進）
 - ・ 一校一プラン「体力アップ大作戦」
 - ・ 食育の推進
 - ・ 給食残量「0」をめざす取組
- 5 学びの環境整備（安心で安全な環境の整備）
 - ・ 空き教室の有効利用
 - ・ 美化コンテスト
 - ・ 生徒デザインの学校花壇・花苗の栽培・管理
- 6 開かれた学校
 - ・ 学校、学年だより月2回配布
 - ・ HPの更新（月1～2回）
 - ・ オープンスクール（11月）
- 7 学校・家庭・地域との協働
 - ・ 小・中交流教育事業（育てたい児童・生徒像の共有化）
 - ・ 中・高交流事業（学びの連続性から学習意欲を育む）
 - ・ あいさつ運動
 - ・ エコ・スクールの取り組み